

# 環境などの事例発表へ

## 第4回建設トップランナーフォーラム きょうまで

森林再生や環境・アグリビジネスなどの新事業に挑む建設会社やその支援者でつくる建設トップランナーフォーラムと日本青年会議所建設部会による「第4回建設トップランナーフォーラム」が、

23日、東京都内の建築会館でスタートした。「地域とともに次のステージへ」をメインテーマに、

23日、東京都内の建築会館でスタートした。「地域とともに次のステージへ」をメインテーマに、

きょう24日までの2日間、にわたり、建設企業が取り組む地域再生事業や環境ビジネスなどの事例を紹介する。



「厳しい時代にあつて、地域を支える人たちが大きく飛躍できるような意義のある大会にした」とあいさつ。

続いて代表幹事の和田章東京工大教授が、環境を主眼に置いた安定した社会づくりと、その中で建設業の役割などについて講演した。

日本青年会議所青年部会の久力一雅部会長は「トップランナーフォーラムで得た知識をぜひ有効に活用してもらい、業界とそれぞれの地域の発展に力を発揮してほしい」と参加者と呼びかけた。

初日の23日は、全体フォーラムとして、伊豆緑産(東京都)の「三宅島の火山とともに生きるサルトリイバラで島興し！」など5つの事例を各社の代表者らが発表した。

2日目の24日は午前9時30分に開会。ワークショップ形式で、3会場に分かれて「地域再生ニアグリビジネス」「環境・新技術」などをテーマに事例発表やミニフォーラムを行う。

参加無料(資料代100円)。